



## マジックショー&バルーンアートで楽しいひととき！ 高槻ともしび苑

高槻ともしび苑では、職員渾身のマジックショーとバルーンアートで楽しい時間を過ごしていただきました(^-^)  
準備や練習を重ねた職員にとっても、入居者さんからの拍手は嬉しい瞬間です♡  
見た目も鮮やかなバルーン、気持ちが明るくなりますね(\*^-^\*)



無事、箱の中から飛び出しました(^ω^) 拍手☆



マジックの定番「剣差し」！箱の中の職員は無事なの  
でしょうか\(@o@)/



カッコイイ剣ができました！！(^ω^)



次はバルーンアートで楽しんでいただきます♡  
はじめは恐ろしく練習していた職員も、本番では  
手際よく進めていきます(^-^)



鮮やかなお花、とってもお似合いです

雨が多く、すっきりしない日が多かったですが、見て触って楽しいバルーンアートを思い思いに楽しまれ、ほっこりと気分も晴れやかになっていただけたかと思えます(^-^)  
居室に持ち帰られ、かわいいインテリアにされる入居者さんもいらっやいました☆



ブードルにお花、それぞれお好みの作品と共に♡

## 職員インタビューコーナー

### 介護士になろうと思ったきっかけ

幼い頃から祖母にお世話になって、色々な事を教わりました。将来祖母に介護が必要となった時、「知識があったら力になれる」、と思ったことがきっかけです。介護士を目指そう、と明確に思ったのが中学を卒業する時期で、高校は普通科でしたが、大学は専門に学べる場所を選び、今に至っています。



福島ともしび苑 介護職員 野間巧基さん

### 実際の現場とイメージのギャップ

実地研修を経験していましたが、勉強して認知症の知識は習得していましたが、実際に入居者さんと関わると奥が深く、意思疎通が難しい、伝わりにくい、想像にも増してお忘れになる、といったことに難しさを感じました。また、食事介助やオムツ交換も、1パターンではなく、嚥下の状態、褥瘡の有無で個人に応じた対応が求められます。「理由があるからこうしている」ということがよくわかりましたし、「考える」ことを要求される仕事だと思いました。入職して3ヶ月過ぎましたが、今はそこがやりがいでもあります。

### 休日の過ごし方

コロナ禍ということで友人と会うことが難しいこともあり、自宅で映画を見て過ごすことが多いです。コロナが落ち着いたら好きなディズニーランドに行きたいと思っています。旅行にも行きたいですね(^-^)

### 目標にしたい人、職場環境

川崎サプリーダーに面談していただく機会があるのですが、的確にアドバイスをくださるだけでなく、話すのが楽しくなることが多いです。いつかこんな人になりたい、と目標にしている先輩です。他の先輩方も丁寧に指導して下さるので沢山吸収させてもらっていますし、職場自体が温かく、働きやすいと感じています。

### 未来の自分

役職者になって、後輩を指導する立場になっていきたいです。また、この仕事の魅力を発信し、少しでも志す人を増やすことができれば、と思っています。大学の時、介護職を選択する学生が少なく、周囲の学生の介護職に対するイメージがまだまだ「3K」であることを感じました。ですが、福島ともしび苑にはリフトがあって女性でも働きやすいと思いますし、空気清浄機が整備されていることで、においも気になりません。そういったイメージとの違いを知ることによって介護職への見方が変わる事を望んでいます。

### 嬉しかったこと

実習と違って長期にわたっていただくことで顔と名前を覚えてくださり、「野間君」と呼ばれることが増えました。他には親しみを込めて「お兄ちゃん」だったり、「ありがとう(^-^)」と声をかけてくださることも。感謝の言葉は特に嬉しく、励みになります。

### 仕事への向き合い方

一連の流れは掴んだと思います。細かいところや、「人を速やかに呼ぶ」「2人で安全に介助する」といったリスク管理も徐々に把握できてきました。これから始まる夜勤に不安もありますが、興味もあります。「夜の過ごされ方がこうならば昼間は…」と時間帯による見え方がわかってくると思いますので、積み重ねる事で、技術向上を図っていきたいです。